



みらいん

たいはく

「みらいん」は、
震災からの復興に向けて
歩むまち・仙台の“ひと”と“地域”の
今を結ぶ情報紙です。



今月のひと

毎月首都圏からやってくる
民間ボランティア団体の人々

震災直後から支援を継続 多面的な活動で参加者を笑顔に

毎月第三木曜日、あすと長町仮設住宅に住む方たちは、一日中ひっきりなしに集会所へと足を運びます。この日は東京などから、内装会社を営む「ソーケングループ」を中心としたボランティアが来訪。美容院やネイル、整体などのサービスを、震災後から二年間欠かすことなく行っています。

「ここに訪れたきっかけですか？ 失礼ですが最初は興味本位だったかも」と当時を振り返るソーケングループ社長の有吉徳洋さん(写真前列中央)。震災直後に仮設住宅を視察する機会があり、あすと長町にも訪れたところ、住んでいる方に「皆見ていくだけで何も行動しない」とお叱りを受けたそうです。ショックを受けた有吉さんは、すぐにボランティア活動を決意。企業仲間と共に行動を起こし、前述の美容院のほか、住宅の補修や内職幹旋、桜の植樹や自主制作アニメの上映、コンサートの開催など、多彩な分野での支援活動を行なっています。当初から支援に参加する齋藤弘喜さん(写真前列右から二番目)は「二度も大変だと感じた事はありません。これからも皆さんの笑顔に貢献したい」と話していました。

2013
8月



2台目のシニアカーを手に入れ、ご満悦の様子の竹澤さん

竹澤 英明さん

あすと長町仮設住宅からほど近い太白区郡山へと移転した竹澤さん。トレードマークのシニアカーで長町近辺をよく散策しています。



縁側に作業机を設け、パッチワークに取り組んでいます

千葉 芳子さん

NTT三神峯社宅から元の居住地・太白区砂押に住まいを再建した千葉さん。趣味のパッチワークを楽しみに、日々を過ごしています。

菅野 勝子さん

あすと長町仮設住宅から若林区二木で現地再建を果たした菅野さん。今は齢99になる義母を介護する日々を送っています。仮設住宅で暮らしていた頃は、介護で忙しく自身も体が弱いため、集会所でのイベントなどに参加することはほとんどありませんでしたが、とても楽しかったと当時を振り返ります。「知らない人でも、困っている私を見つけるとすぐに手を貸してくれる。ご近所の方たちはとても親切で助かっていました。本当にありがとうございました。心から伝えたいです」と、話していました。

秋山 久美子 さん

2012年1月にあすと長町仮設住宅から泉区・南光台へ移転



外観と内装の色の違いに驚かれるというご自宅の前で。内装は天井から床まで真っ白です

各種手続きのため、石巻・仙台間を往復する日々。石巻市雄勝で被災し、あすと長町仮設住宅へ入居した秋山久美子さん。雄勝の自宅が災害危険区域に指定されたこと、息子の大地さんが学校を卒業し、就職することから仙台市へ移転することに決めました。大地さんの希望する働き口が石巻市より仙台市に多かったこと、遠洋漁業を生業とするご主人が家を空ける間秋山さんが一人になることを考慮した結果です。泉区南光台の建売住宅を購入し、二〇一三年一月に転居しました。ご主人が漁に出ている間、秋山さんは大地さんと二人で生活しています。大変だったのは役所での手続きと言いう秋山さん。「震災時の居住地で手続

きしなければならぬこともあって、石巻市と仙台市を何往復もしました。一日に二往復したこともあるんです」と話します。被災者生活再建支援制度の加算支援金のほか、石巻市の支援制度である「東日本大震災被災者危険住宅移転事業補助金」を申請。書類が複雑で、記入だけで一時間程度もかかったこともあったそうです。

「その点、仮設住宅では落ちた洗濯物を拾ってくれたり、声をかけてくれたり、皆さん親切でした」と、当時を振り返ります。仮設住宅で共に暮らした仲間たちの近況が気にかかり、テレビや新聞を頻繁にチェックしているそうです。



津波に飲まれたものの、新居でたくましく成長し続けている南天の木



武田 しず子 さん

2013年6月にあすと長町仮設住宅から太白区・四郎丸へ移転

自宅前で愛犬のランちゃん、マロンちゃんとともに

荒浜の面影を感じる。太白区四郎丸へ転居。田園風景が広がる太白区四郎丸に、武田しず子さんのお宅があります。「田んぼを見ると、荒浜を思い出しすね」と語る武田さん。震災時に居住していた若林区荒浜が災害危険区域に指定されたことで、新天地へ住居を求めました。武田さんとご主人、娘さんの三人が四郎丸へ転居したのは今年六月。住居を探し始めてから、一年もの歳月を要したと言います。「土地や物件を探している人が多いから、急がないと二番手、三番手になってしまう。ネットにかじりついて、ようやく購入できました」と語る顔には安堵の色がにじんでいました。購入するうえで一番問題だったのは

あすと長町仮設住宅では自治会のブロック長を務め、仮設住宅での生活を楽しんでた武田さん。「夏祭りで売り子をしたのが一番楽しかったですね」と、満面の笑みで話します。「強く希望すれば叶うと思うんです。だから、プラス思考でたくさん楽しいことを考えてほしいと思いますね」と、武田さんは仮設住宅で共に暮らした仲



衝動買いしたというスモークツリー。荒浜のお宅でも栽培していた思い出の木です

あの人は今なにしている？
追っかけレポート

防災集団移転促進事業の活用や復興公営住宅への入居など、住宅再建に關して多様な選択肢がある中、独自に自宅を再建した方がいます。仮設住宅を出た皆さんは今何をしているのか、気になる現状をレポート。皆さんの新居にお邪魔し、お話を聞きました。

間たちにメッセージを送ってくださいました。

そんな武田さんの今後の楽しみはガーデニング。「実は、仮設住宅にいた時から夢見て、古本屋さんで専門書を集めてたんです」と笑う顔は、生き生きと輝いていました。

モットーは 日々を楽しむこと

みらい編集部は、毎日読者の皆さんと一緒にさまざまな催しや出来事に参加し、取材しています。その一部をご紹介します。

●9日(日) 仮設住宅で防災訓練
(あすと長町仮設住宅)

自治会主催の防災訓練が行われ、あすと長町仮設住宅にお住まいの方たちが参加しました。当日は朝から50人以上が集合。仙台南消防署の協力のもとで訓練がスタートしました。まずは仮設住宅内から出火したとの想定で、各区画のブロック長の指示による避難誘導を実施。迅速に集合場所へと集まっていました。避難が終了し点呼確認後、今度は消火訓練

を開始。訓練用の水が入った消火器を手に取り目標へ向かってレバーを握ると、次々とターゲット板に命中。また全員参加によるバケツリレーでの消火訓練なども行われ、それぞれが真剣に取り組んでいました。



●13日(木) 彼女ができました
(NTT八木山社宅)



色合いのアサガオを制作したナガセさん。作品のタイトルは「愛しの彼女」です。

みやぎ生協のふれあい喫茶で、貼り絵教室が開催されました。赤やピンクなどの鮮やかな

●16日(日) クラックス訪問
(あすと長町仮設住宅)



お馴染みのクラックスリーダーズの「元気お届け隊」が今月も登場。タオルを使ったオリジナル体操などで盛り上がっていましたよ。

●16日(日) 心をつなぐ落語会
(あすと長町仮設住宅)



自治会主催によりラジオ公開収録を兼ねた落語会が行われました。参加した3人の噺家さんたちは実力派ぞろい。会場は笑いに包まれました。

支えあいセンターたいはくのサロンでトランプ大会を開催。神経衰弱では「覚えられるか不安だなあ」と弱気な皆さんでしたが、ペア成立ごとに拍手が起こり、大盛り上がりでした。

●20日(木) 皆で童心に返って
(富沢市民センター)



支えあいセンターたいはくのサロンでトランプ大会を開催。神経衰弱では「覚えられるか不安だなあ」と弱気な皆さんでしたが、ペア成立ごとに拍手が起こり、大盛り上がりでした。

●25日(火) 押し花教室開催
(NTT三神峯社宅)

「これ、吹けば飛んでくぞ〜」「息でも止めっか」「ずっとは無理だべ〜」。色とりどりの押し花を前に、わいわいとにぎやかな皆さん。みやぎ生協が開いたふれあい喫茶のひとコマです。この日は押し花でオリジナルファイルとコースターをつくりました。スタッフの方が自宅の花でつくったという押し花がテーブルに広げられると、その種類の多さと色鮮やかさ

に感嘆の声ががります。「花によって雰囲気変わるなあ」「こっちはいいわねえ」と、可憐な花々に目移りしながらも制作を進め、それぞれ作品を完成させました。



●29日(土) Smile for Miyagi開催
(あすと長町仮設住宅)



Date fmの番組「Smile for Miyagi」の公開録音イベントが仮設住宅内で開催。ゲーム大会などのほか、石巻焼きそばが無料で振る舞われていました。

読者から
ひとこと

●私さ、何年前かに直葬に申し込んだのね。直葬って儀礼的なものがないので、火葬だけするんだけど、今は需要が増えてるのかな？ 葬儀屋の看板に値段が書いてあってさ、見たら私が頼んだ時より軽く三万円は値上がりしてて驚いたよ。

太白区/Nさん

●震災から間もなく二年半、これまでに多くの方に色々な支援をしていただいて感謝しています。自分たちの力で行うことも増えてきました。これからは、すぐに頼らずにできることを自分たちの手でやっていきたいです。ボランティアさんへの感謝もしていきたいですね。

若林区/Oさん

●新浜に嫁いで、今八十五才です！老人クラブは八十才で引退したの。近所のお友だちが震災で皆死んじゃって、それが一番さびしい。最近ね、夕飯を食べた後に窓から仙台南港の灯りを眺めるのが楽しみなの。実家(白辺)で見ていた灯りの景色が懐かしかったから「いいな〜」と思って、毎晩楽しみます。

宮城野区/平山みよ子さん

まちの語り場

集団移転、単独移転、現地再建…。沿岸部にお住まいだった方は今、お住まいの再建に向けて地域ごとに話し合いを進めています。このコーナーでは、それぞれの団体に話し合われている内容についてお知らせします。

宮城野区

新浜町内会
復興部委員会

七月二十日(土)定例会議

内容

●町内の公共施設整備について
●「地域在住婦人向けの集い」実施について

当日の様子



問い合わせ先
代表 遠藤芳広 090-2020-4002
会合は随時開催
新浜仮設集会所

地域の公共施設整備促進の要望を高砂連合町内会に提出するにあたり、町内会役員が地域を視察してまとめた整備要望箇所について討議しました。要望事項のひとつ、町内の移転予定者宅地を農業従事者以外でも住宅地として取得できる仕組みの設定について、市街化調整区域であつても希望者が転入居住できるように、要望をあげていくことが確認されました。

宮城野区

南蒲生復興部

七月十七日(水)定例会議

内容

●各事業の進捗報告と検討
●今後の予定

当日の様子



問い合わせ先
代表 芳賀正 080-1663-7382
会合は随時開催
住民説明報告会
毎月最終日曜日 岡田西町仮設住宅集会所

七月、南蒲生に開業した農業生産法人「みちさき」で町内からも雇用があり、野菜の出荷が始まったこと、報告と、五月の町内世帯状況調査結果を踏まえ、要援護者などの所在を避難訓練で災害救援に活用することが確認されました。仙台平野「みんなの居久根」創出プロジェクトでは、町内外の支援者などが集まり、新しい田舎を、目指す意向が示されました。

若林区

荒浜復興公営住宅
(戸建)推進協議会

七月八日(月)見学会・意見交換会

内容

●戸建公営住宅建築予定地を見学
●市担当者との意見交換

当日の様子



問い合わせ先
代表 最知幸子 080-3194-8439
定例会議
第2・4月曜日13:30~
荒井小学校用地仮設住宅集会所

戸建の復興公営住宅建設が予定されている、荒井東地区と七郷地区の現地を市の担当者の案内で見学しました。参加者十数名は宅地造成工事の現地を見た後、意見交換会を行い、一人暮らしの方に戸建公営住宅への入居を認めてほしい、などの意見が出されました。市からは、安全安心な一人暮らしを考慮した上で、集合住宅を勧めていることが説明されました。

若林区

東六郷移転推進
協議会

七月十四日(日)定例会議

内容

●土地売買契約の報告
●移転地開発事業の今後について

当日の様子



問い合わせ先
代表 落合義光 090-4882-3368
定例会議
随時開催
日辺グラウンド仮設住宅談話室

落合代表より移転先地権者との土地売買契約について、手付金の支払いが済んだことが報告され、メンバーが土地売買契約書への署名捺印を行いました。また、移転地の開発事業施工業務の委託先については、隣接地に移転を計画する他地区移転者団体と同じ委託業者とし、今後の開発についても同移転者団体とともに協議し、進めていくことが確認されました。

東六郷の浸水区域から六郷地区への集団移転に向けて活動しています。

続ける 支援

リルーツの農地再生支援

東日本大震災から二年。今、さまざまなかたちで支援が続いている方々がいまいます。地域に根づいて支援を続ける方々は、どんな思いで活動しているのでしょうか。被災地で取材を続ける情報ボランティア@仙台の大学生記者が取材しました。

若林区沿岸部で、津波被害に遭った農地の再生に取り組み地元大学生主体のボランティアグループ「リルーツ」は、今なお現場で汗する団体の一つです。コンセプトは「復旧から復興へ、そして地域おこしまで」。二〇一一年四月の始動以来、盆や正月を除き、ほぼ休みなく活動しています。

農地再生の実際の作業は極めて地味です。耕作再開の妨げとなる石やガラス片などを掘り出しては拾い、雑草を刈る。被災農地の広大さを思うと、気が遠くなる作業です。全国延べ二十万人以上のボランティアの力を結集し、これまで地元農家三百五十件以上のSOSにこたえてきました。

「リルーツがいなかったら、ここまで来るのにも二年はかかっていた」というのが、地元農家の評価です。



ボランティアの作業風景。この日はネギ畑の雑草をきれいに取り除きました

す。人海戦術のマンパワーはもちろんで、常に相手の立場を考えた支援は、復興に挑む農家の確かな支えとなってきました。

支援は「農地を蘇らせて終わり」ではありません。再開した農地での田植え体験イベントをはじめ、サツマイモやヒマワリの栽培、さらには農家が育てた復興野菜を、仙台朝市に置くアンテナショップ「りるまあと」で直売もしています。

「行政施策はどうしてもハード面に偏りがちです。でも、それだけでは農家は蘇っても農村コミュニティは減んでしまう。だから農業を支える消費者、農家を応援するファンを

育てて、つながっていききたいんです」。唯一の社会人で、約五十人の大学生メンバーを率いる広瀬剛史代表の願いです。

従来、農業や農村からは遠い存在と思っていた若者の献身的な働きを地元は喜んでいきます。リルーツの協力で畑作を再開できた若林区三本塚の佐藤勝五郎さんは「若い人の頑張りに心底感動した。自分もこのままでは終われないと思ったわけよ」と笑います。卒寿を過ぎてても何のその。今春からはリルーツの市民参加企画「さつまいもプロジェクト」で栽培指導役を務め、ひ孫

離れた大学生らと一緒



ボランティアハウスの前で、リルーツの取り組みについて語る代表の広瀬さん

に地域おこしに励んでいます。

広瀬さんは言います。「目先の必要なことを手当するボランティアもいれば、先々を考えて動く支援者もいます。一方で、被災した人の中にも『地域をどうするか』を発想できる人もいます。支援する側もされる側も今後一層、質や姿勢が問われますね」。復興のこれからを考える上で、実践者の言葉は重くしりと響きます。

支援内容／
農地再生(津波浸水農地のがれき除去)、農作業手伝いなど
支援を希望する方は下記へお問い合わせください。
問い合わせ／
一般社団法人 ReRoots(リルーツ)
TEL 022-762-8211

情報掲示板

仮設住宅やご近所で開催される催し物や相談会、支援団体による支援情報などを紹介します。

企画展「なつかし仙台3 いつか見た街・人・暮らし」

仙台地方の人々の街・人・暮らしを中心に、明治・大正・昭和はじめ・戦後・現代に至る写真や絵はがきなどの映像資料を取り上げます。8月中は、震災直後から定点観測されたテーマ展示も行います。

対象 どなたでも入場できます

時 開催中(11月4日(月・祝)まで)9:00～16:45

※月曜日(祝日を除く)、休日の翌日(土・日曜日、祝日を除く)、第4木曜日は休館

場所 仙台市歴史民俗資料館

入館料 一般・大学生200円、高校生150円、小・中学生100円

【館内テーマ展示「3.11キラクのキルク、そしてイマ。」ポスター展(NPO法人20世紀アーカイブ仙台)

東日本大震災直後に撮影した写真と定点観測された現在の写真を紹介します。

時 開催中(8月25日(日)まで)9:00～16:45

【館内テーマ展示

写真家 庄子喜隆の世界「仙台市電が走っていたころ」

時 8月31日(土)～9月23日(月・祝)9:00～16:45

昭和50年代前後の昭和の仙台の街を市電とともにかえりみます。

問 022-295-3956 仙台市歴史民俗資料館

津波で流出した写真などをお返します

東日本大震災の津波被害地域(宮城野区・若林区)でのがれき処理作業中に回収された写真、アルバム、賞状など思い出の品を洗浄しました。期間中に品物の展示・返却を行います。

対象 どなたでも入場できます

時 8月15日(木)～25日(日)10:00～17:00 ※19日(月)は休館

場所 宮城野区中央市民センター体育館(宮城野区五輪2-12-70 宮城野区役所隣)

主催 震災復興ボランティア団体おもいでかえる、仙台市

問 022-214-3108 仙台市消防局防災企画課、減災推進課

子育てを支援する保育士が訪問します

「引越してきたばかりで何もわからず不安」「育児に悩みがある」といった子育て中の悩みを、仙台市向山保育所の保育士2名が訪問してお聞きします。太白区内であれば、どこにでも伺います。費用は無料です。

対象 太白区内にお住まいで育児について悩みがある方

訪問時間 平日10:00～15:00

申込方法 電話かメールにてご連絡ください。メールの方には折り返しお電話しますので、電話番号の入力をお願いします

申・問 090-7065-1920(平日9:30～15:00) 仙台市向山保育所 地域子育て支援センター e-mail: aiai-houmon@docomo.ne.jp

支えあいセンターからのお知らせ

借り上げ民間賃貸住宅(以下、みなし仮設)にお住まいの方を支援する支えあいセンター主催の、おすすめサロン・イベント情報です。すべて参加無料。

サロン・イベント名	対象	時	時間	会場	内容	申込	問い合わせ
らくらくりフレッシュ in 宮城野	宮城野区のみなし仮設にお住まいの方	8月7日(水)	10:00～12:00	宮城野区中央市民センター	無理なく、楽しくできる健康運動	要(電話)	支えあいセンター みやぎの 022-292-0990
プラザサロン	福祉プラザ付近にお住まいの方	8月21日(水)	13:00～15:00	福祉プラザ 9階大広間2	風呂敷包みの会(包み方のアレンジを楽しみます)	要(電話)	支えあいセンター あおば 022-217-7234
納涼支えあい夏まつり	若林区のみなし仮設にお住まいの方	8月22日(木)	10:00～12:00	若林区中央市民センター別棟	夏祭り(水風船・パルーンアート・輪投げ・模擬店他盛りだくさん)	要 (はがき案内による電話申込)	支えあいセンター わかばやし 022-781-0559
ほのほの中央サロン	太白区のみなし仮設にお住まいの方	8月24日(土)	10:00～12:00	太白区中央市民センター	落語と小唄(日本笑い学会 楽家笑遊さん)	要(電話)	支えあいセンター たいはく 022-217-7234
泉中央サロン	泉区のみなし仮設にお住まいの方	8月28日(水)	10:00～12:00	泉区中央市民センター	風呂敷包みの会(包み方のアレンジを楽しみます)	不要	支えあいセンター いずみ 022-772-5755

※その他の交流サロンについては、支えあいセンターからのダイレクトメールでご確認ください

あすと長町仮設住宅イベント(会場はすべて仮設住宅集会所)

※下記以外にもさまざまな催しがあります

日時	イベント	対象	問い合わせ
8月7日(水) 13:30～15:00	心の悩みを聴くおしゃべりとお茶の時間	仮設住宅入居者	仙台傾聴の会 080-3199-4481 (森山/火・木・土曜日 9:00～17:00)
8月8日(木) 10:30～11:45	みちのく民話語り	仮設住宅入居者	みちのく公園民話の会 022-291-7536(石川)
8月11日(日) 14:00～15:00	ヨガ ※バスタオルをご持参ください	仮設住宅入居者	アテンボヨガ 090-2841-8709(鈴木/18:00～)
8月12日(月) 13:00～15:30	華道部	仮設住宅入居者	こうやくんカフェ 090-7663-2013(鈴木)
8月13日(火) 10:30～12:00	仙台ほっとカフェ	仮設住宅入居者	仙台いのちの電話事務局 022-718-4401(ほっとカフェ担当)
8月19日(月) 13:30～16:00	カウンセリング 他	仮設住宅入居者	東北大学 090-3548-7928(板倉)
8月21日(水) 13:00～16:00	糸あそびの会	仮設住宅入居者	色業工房 090-9072-2160(庄子)
8月28日(水) 13:00～16:00	おしるこカフェ	どなたでもどうぞ	一般財団法人 アート・インクルージョン 080-4357-7035(門脇)

徳照寺 住職

佐藤 和丸

ある老人クラブの方々にお願ひして、次の件
に関して統計を取って見た時の意外な結果のお
話です。

今、自分が持つてゐる大切な財産と思へるもの
を全部書き出してもらひ、次に消しゴムを各
自にお渡しして、本当は失ひたくないが無くて
も、まっ、生きて行けるといふもの、ずっと所有
してゐたいけど失つても仕方ないものを次々に
消してもらひ、結局最後に残つたのが全員共通
して、夫、妻、子、孫、肉親、友人といふ人間を
意味するものだけだつたさうです。

この統計を取つた人の結論は「人間は人無くし
ては生きて行けない存在である」といふこととし
た。さう遠くない将来、核戦争が勃発した時に
自分だけ生き残らうとして、強固な核シェルター
を自宅の地下に作つたといふ人がゐると聞いた
ことがありますが、想像してみても下さい。世界
中の人々が全員核の犠牲になり壊滅したあとの
世界に、ポツンと独り地上に立ち尽くしてゐる
様相を。恐らくこの人は生きて行けないでせう。
こんなにも人間好きの私達なのに、一方では
生きて行けなくなるほどの苦悩もまた、この人
間との関係から生じるのですもんねえ。

佐藤和丸(さとう かずまる)

若林区日辺の浄土真宗大谷派・徳照寺住職。情報誌への執筆や居酒屋での説法会などを行う、ユニークな人柄と行動力の持ち主。

クロスワードパズル

出題
石田竹久

こたえ

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

1	2	3	4	5	
	D				
6		7		8	
				B	
		9	10		11
12	13		14		15
		16	17		
18			19		20
				A	
		21			
		E			

タテのカギ

- ①8月20日、光と水と音の祭典、「広瀬川〇〇〇〇流し」が開催されます
- ②浜辺を歩くと踏みしめず
- ④8月15、16日、瑞巖寺や五大堂周辺などで、「〇〇〇〇流灯会 海の盆」が開かれます
- ⑤鳴瀬川の通る加美町には、〇〇の里公園や〇〇の里物産館があります
- ⑦あわれみ、いつくしむ心
- ⑩〇〇〇骨とは、一家を支えていくもの
- ⑪定義山に行くと、羽衣をまとったような「天女の〇〇」が見られます
- ⑬武芸や学問などの先生
- ⑮力士の名前
- ⑰運転中のご法度のひとつ。まっすぐ前を向きましょう
- ⑱石巻市の離島でもついに海開き、〇〇白浜海水浴場
- ⑲〇〇が付くといえば、貫禄が出ること
- ⑳仙台トラストタワーをはじめ、仙台市には東北地方でも屈指の高層〇〇が並びます

ヨコのカギ

- ①投げたコインの裏表で物事を決定
- ③「山間」を「さんかん」とは読まずに…
- ⑥首の後ろの部分
- ⑧夏の直前はジトジトとこの時期でした
- ⑨仙台市が発祥の地とされる〇〇〇中華。暑い季節には手づくりされる家庭が多いことでしょう
- ⑫仙台市においても、松阪や神戸などと並んで高級ブランドの肉が
- ⑭ことわざ。三つ子の〇〇〇〇百まで
- ⑯この6月より、仙台空港と〇〇〇のホノルル国際空港を結ぶ直行便が就航しています
- ⑰覚えて頭に入れること
- ⑲楽天イーグルスの8月25日までのホームゲームでは、5回裏終了後に約1分間、〇〇〇が打ち上がります
- ⑳奥州の高野山といわれる、登米市の〇〇〇寺では、8月15、16日に「〇〇〇尊大祭」が行なわれます

前回のこたえ

A ミ B ナ C ツ D キ

でした。

1	エ	キ	2	シ	3	ヤ	3	コ	4	ウ
	ダ		5	カ	ソ		6	ツ	ケ	
7	マ	ツ	タ	8	オ	チ				
	メ		9	ナ	イ	ン	10	ア		
		11	ホ	シ	12	セ	イ	ジ		
13	ミ	コ		14	バ	ン		サ		
15	キ	ラ	キ	ラ		16	カ	イ		

編集後記

夏が大好きです。最近好きになりました。昔は嫌いでしたが、今となっては嫌いだつた原因がわかりません。楽しかった思い出はいつもこの季節からでした。今年も夏がやってきます。(さいとう)
友人に誘われジムに通い始めるも、体重は減るところが増える一方。鍛えられたのはごはんの時に箸を動かす速さだけのようです。運動後のごはんは格別だから仕方ないということで。(あつみ)

お住まいを移転される方へ

お住まいを移転されると、移転先に「みらいん」が届かなくなる可能性があります。引越し後も引き続き購読を希望される方は、編集部までご一報ください。

宛先：〒984-0011 仙台市若林区六丁の目西町2-12 「みらいん」編集部
TEL：022-390-5755
FAX：022-390-5756 e-mail：kawara@mmmm.or.jp